

2021. 10. 8

一般社団法人静岡県信用金庫協会

第60回県内信用金庫連携による合同景況調査結果

一般社団法人静岡県信用金庫協会（会長 田形 和幸）は、平成 17 年(2005 年)10 月以降、県内信用金庫連携による合同景況調査を実施しています。

各信用金庫が協力して取引先企業 1,199 社にアンケート調査を実施し、1,165 社から得た回答（有効回答率 97.2%）をもとに、県内経済を支える地元企業を広く網羅して分析したものです。

静岡県信用金庫協会では、地域に密着した信用金庫ならではの情報提供を通じて地域に貢献し、信用金庫の存在意義を高めていきたいと考えております。

「県内中小企業等の景況感 DI は、やや悪化」

【概 況】

2021 年 7～9 月の県内中小企業等の業況 DI（企業の景況感を示す、「良い」とする企業割合から「悪い」とする企業割合を引いた数値）は、前回調査時（2021 年 4 月～6 月「以下同じ」）の▲28.2 から▲30.2 と▲2.0 ポイントのやや悪化となった。

業種別にみると、建設業（前回調査▲25.6→今回調査▲20.0）はやや改善し、製造業は横ばいであるものの、緊急事態宣言発令の影響もあってサービス業（▲46.3→▲56.1）、小売業、卸売業、不動産業がそれぞれマイナス幅を拡大し、悪化した。

これを地区別の業況 DI でみると、東部地区がやや改善したものの、中部地区、西部地区は悪化した（地区別の詳細は次頁のとおり）。なお、各地区とも、依然として悪化水準は高く、コロナ禍の影響が続くことを懸念している。

県内合計及び地区別 DI の推移（全産業）

	2019年				2020年				2021年	
	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12	1～3	4～6	7～9	10～12 (見通し)
東部地区	▲16.3	▲24.0	▲30.6	▲67.0	▲50.9	▲26.2	▲40.2	▲38.0	▲32.7	▲31.2
中部地区	▲7.6	▲7.4	▲21.1	▲53.7	▲59.6	▲39.7	▲26.6	▲26.4	▲40.8	▲36.1
西部地区	▲10.9	▲20.9	▲26.9	▲71.0	▲63.6	▲41.3	▲29.1	▲23.0	▲25.9	▲29.0
県内計	▲11.6	▲18.7	▲26.7	▲67.0	▲59.1	▲36.4	▲32.1	▲28.2	▲30.2	▲30.8

2021 年 10～12 月の業況見通しは、東部、中部はやや改善し、西部は悪化の見通しとなっていることから、県全体ではほぼ横ばいの予想となっている。

■東部

東部では、不動産業が▲9.7ポイント(0.0→▲9.7)、卸売業が▲2.3ポイント(▲37.1→▲39.4)と悪化したものの、製造業が11.1ポイント(▲38.1→▲27.0)、小売業が8.0ポイント(▲45.2→▲37.2)、建設業が6.7ポイント(▲23.7→▲17.0)、サービス業が4.0ポイント(▲68.6→▲64.6)と改善したことから、全産業ベースの景況DIは、前回調査時の▲38.0から▲32.7とやや改善となった。

製造業

業況は、コロナ禍の影響が続いているものの、売上、受注が回復傾向にあることから、改善している。

今後の見通し(2021年10～12月期・以下同じ)としては、売上の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・「脱プラスチック」が進展する中、エアクッションからダンボール等を利用した梱包材に転換する動きが見られることから、年内後半は同梱包材の製品化により売上の増加が見込まれる。(紙加工品製造)
- ・コロナ禍の影響拡大により原材料が高騰。受注の回復傾向となるも企業努力によるところが大きく、業界動向としては低迷。(精密板金加工品)
- ・半導体や自動車部品の不足が生産台数に及ぼす影響に関して懸念がある。(自動車部品製造業)
- ・受注はあるものの、コロナ禍の影響により納品が先送りされるケースが多く、売掛金の回収及び在庫置き場の確保に苦慮している。(木材チップ・搬送設備製造業)

卸売業

業況は、巣ごもり需要等の売上が増加しているものの、緊急事態宣言による飲食店の休業やイベント中止等の影響から依然として厳しく、やや悪化している。

今後の見通しとしては、長引くコロナ禍の影響で先行きが不透明なことから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・原材料の高騰による業況悪化が懸念事項であり影響を受けている。今後も原材料の価格は高止まりする見通しであり、動向を注視していく必要性を感じている。(プロパンガス販売)
- ・依然、コロナ禍の影響が大きく先行きは不透明。緊急事態宣言に加えて、中国が鋼材の輸出に制限をかけるとの一部報道もあり、利幅の確保も困難な状況。(砂・6号砕石・セメント等)
- ・相次ぐイベントの中止等により紙の需要が大幅に減少している。(製紙原料卸売業)

小売業

業況は、持ち帰り用販売の需要が高まるなど、売上の増加から、改善している。

今後の見通しとしては、引き続きコロナ禍の影響や原材料の高騰が予想され、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・外食等に使われていたお金が巣籠り需要に回ってきていると思われ、一般食料品の売上は安定している。(生鮮食品小売業)
- ・園芸業界は在宅時間増加により売上は伸びると予想。切花業界はイベントの中止で苦戦している状況。(花卉園芸・小売)
- ・緊急事態宣言発令による各飲食店の酒取扱中止により、酒の卸はほぼ停止。店頭販売は「おうち時間」にて一定水準確保するも、業況は依然厳しい。(酒)
- ・コロナ禍の影響で、消費者の購買意欲の低下から売上が減少している。また、世界的なウッドショックにより、木材が使用されている家具等が高騰しており、当面はこの状況が続くと予想される。(家具販売)

サービス業

業況は、やや改善しているものの、長引くコロナ禍の影響により、依然として高いマイナス水準である。

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響で宿泊予約等の目途が立っていないことから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 昨年は秋から GoTo キャンペーン等があったが、今年は特にプラスとなる外的要因が無い状況であり、今後の売上は減少予測。 (旅館・飲食)
- ・ イートインの売上の減少を補うため、テイクアウトにて売上を伸ばすための営業活動・宣伝を行っている。 (飲食業)
- ・ 車両販売は例年通りの売上で、アフターサービスの向上により車検はほぼ固定客がついているが、修理・メンテナンス等は外出自粛の影響により減少傾向にあり、コロナ禍の影響が懸念される。 (車販売・修理・点検)
- ・ 事業者増加により競争激化、価格低下を招いている。環境問題対応の為のコスト増。事業効率化と経営体質の改善が急務。 (運送業)

建設業

業況は、コロナ禍の影響で先送りとなっていた受注の増加などから、改善している

今後の見通しとしては、コロナ禍の影響により民間企業の投資意欲は落ち込んでおり、過当競争による収益の減少などから、業況はやや悪化を見込んでいる

(事業者の声)

- ・ コロナ禍の影響や建材の価格高騰により、建設計画の延期等の影響が出ている。建設業界は他業種に比べ、景気後退の波が遅れてくる事が多く、年末から来年にかけての見込みについては不透明な部分も多い。 (総合建設業)
- ・ コロナ禍による影響はあるものの、業況安定して推移している。現場作業員の人手不足が気になり。現在は外注で人手不足を補っている状況。 (総合建設業)
- ・ コロナ禍で工事が長期化し資金繰りを圧迫。 (電機通信工事・管工事業)
- ・ 業界全体で工事数増。人材確保と待遇改善が課題。 (解体工事業)
- ・ 一般住宅の受注は増加しているが、大工など職人の確保に苦慮している。 (一般住宅建設業)

不動産業

業況は、商品物件数の減少や契約件数の伸び悩みなどによる、売上や収益の減少から、悪化している。

今後の見通しとしては、一定の売買需要は常にあることから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 不動産の動きは鈍く、契約件数も少ない。物件も販売できず、長期化している。 (不動産賃貸)
- ・ 昨年に比べ業況は良くなっているが、市場に物件が出回らない状況は変わらない。 (不動産代理業・仲介業)
- ・ 中古住宅では古い物件をリノベーションして売り出す手法に注目。 (不動産仲介・売買・賃貸)
- ・ 入居率等は安定しており、滞納も発生していないため賃貸収入は安定している。 (不動産賃貸業)
- ・ 高齢者世帯の増加などにより、財産処分等の相談・依頼が増加している。 (不動産売買業)

■中部地区

中部では、建設業が 15.8 ポイント(▲26.9⇒▲11.1)、不動産業が 1.4 ポイント(▲15.0⇒▲13.6)と改善したものの、サービス業が▲33.2 ポイント(▲32.0⇒▲65.2)、小売業が▲26.1 ポイント(▲33.3⇒▲59.4)、製造業が▲21.4 ポイント(▲15.1⇒▲36.5)、卸売業が▲14.2 ポイント(▲42.9⇒▲57.1)、と悪化したことから、全産業ベースの業況DIは、前回調査時の▲26.4 から▲40.8 と悪化となった。

製造業

業況は、原材料価格の上昇などから、悪化している。

今後の見通しとしては、ワクチン接種によるコロナ禍の収束の期待感から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・ 自動車大手メーカーは、東南アジアから半導体の仕入ができず、一時的に高級車種の生産を停止。また、半導体不足に加え、コロナ禍の影響から、全車種で大型減産の方針であり、9月以降の受注の減少も予想される。 (自動車部品の金型プレス)

- ・同業者間の競争激化、原材料の高騰による仕入の悪化から売上は減少している。(木製建具)
- ・外食向けや給食用の消費が激減、海外に向けた販路拡大を検討。(魚肉練製品製造)

卸売業

業況は、売上の減少や仕入価格の上昇などから、悪化している。

今後の見通しとしては、売上の増加などから、業況は改善するものの、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・コロナ禍の影響は受けているが、借入せず対応してきた。今回の緊急事態宣言により、取引先が休業した事で売上が減少しており今後の状況によっては借入を検討する。(酒類卸)
- ・販売先である観光業界が大打撃を受けており、例年に比べて大幅な減収減益となっている。売上の急回復は困難な状況であり、雇用調整助成金等の活用を行いながら経費削減に取り組んでいく。(ホテルアメニティ卸売)
- ・ウッドショックによる仕入価格の上昇を販売価格に転嫁できていない。(木製品)

小売業

業況は、緊急事態宣言に伴う時短営業や休業の影響による収益の減少などから、悪化している。

今後の見通しとしては、コロナ禍が長期化する懸念があることから、業況は横ばいで、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・緊急事態宣言が発令され、年配客の来店が減少している。しかしながら飲食業に比べて落ち込みは少なく、事業継続に支障はない。(和菓子小売)
- ・部品の供給不足から新車の納車に遅れが生じており、売上に影響を及ぼしている。(自動車・修理販売)
- ・人員不足が続いているが、セルフレジや電子マネーの導入により生産性向上に取り組むことで対応している。(スーパーマーケット)

サービス業

業況は、緊急事態宣言の影響等から、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、緊急事態宣言解除後も人流が戻る期待感はなく、業況は、引き続き高いマイナス水準を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・売上は回復傾向にあったが、緊急事態宣言が発令により急激に落ち込んだ。(飲食)
- ・最近では予約とキャンセルが頻繁に繰り返されているが、週末等は首都圏から相応の宿泊客があった。ただし緊急事態宣言の発出以降キャンセルが増加しており、今後の業況は不透明な状況。(旅館)
- ・コロナ禍の影響を受け、既存客の来店が鈍化し、売上は減少。今後規模の拡充を検討しているが、コロナ禍が長期化しており顧客の動向を注視している。人材については今後採用予定。(美容院)

建設業

業況は、売上や受注の増加などから、改善している。

今後の見通しとしては、受注や施工高の増加から、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・今期は公共工事が受注出来ており、当面売上は安定している。(土木・建築工事一式)
- ・下請の確保難が続いている。(土木・建築工事一式)
- ・業界全体で高齢化が進んでおり、設備導入・IT導入による高齢化対策、および技術の伝承について対応を考えている。(土木工事)

不動産業

業況は、コロナ禍のマイナスの影響が少なく、ほぼ横ばいである。

今後の見通しとしては、収益の減少などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・賃貸物件の動きは良好であるため、ホームページのリニューアルなど広告宣伝媒体の改善による集客等への迅速な対応が課題となっている。(不動産賃貸)
- ・緊急事態宣言が発令されたことにより、人の流れが抑制され面談が困難となり、契約がスムーズに進まないという影響が出ている。(不動産売買)
- ・個人客からの引き合いは、コロナ禍以前と比べて減少傾向にある。(その他不動産)

■西部地区

西部では、建設業が1.4ポイント(▲26.7⇒▲25.3)、不動産業が0.3ポイント(▲16.0⇒▲15.7)とほぼ横ばいながら、小売業が▲20.3ポイント(▲22.1⇒▲42.4)、サービス業は▲10.0ポイント(▲28.9⇒▲38.9)、卸売業が▲3.0ポイント(▲38.8⇒▲41.8)、製造業が▲0.3ポイント(▲18.7⇒▲19.0)と悪化したことから、全産業ベースの業況DIは前回調査時の▲23.0から▲25.9とやや悪化となった。

製造業

業況は、半導体不足が影響してきたことから、やや悪化している。

今後の見通しとしては、半導体不足が懸念され、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・半導体不足の影響が大きい。(照明器具部品加工)
- ・業況の悪化と後継者不足。(自動車部品製造業)
- ・密を避ける移動手段として二輪車の重要が高くなってきている。(二輪車部品製造業)

卸売業

業況は、売上、収益の減少から、悪化となり、依然として高いマイナス水準である。

今後の見通しとしては、販売価格の下降などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・緊急事態宣言による小売店の仕入れ減少の影響が大きい。(農畜産物・水産物)
- ・コロナ禍で営業活動が十分にできず売上回復に至っていない。(肥料・農業生産資材)
- ・長雨、台風等により作物の出荷が減少している。(カット野菜)

小売業

業況は、期待されたオリ・パラリンピックの経済効果が見られず、緊急事態宣言の発令に伴うイベント中止の影響もあり、大幅な悪化となった。

今後の見通しとしては、売上、収益の増加などから、業況はやや改善を見込んでいる。

(事業者の声)

- ・外出自粛が続いており、婦人服の売り上げが減少した。(衣料品)
- ・緊急事態宣言により営業活動が制限されている。(ユニフォーム販売)
- ・原油価格の値上げ分を価格に上乗せできず、利益率が悪化している。(ガソリン販売)
- ・コロナ禍による巣ごもり需要があり、大きな影響を受けていない。(書籍販売)
- ・3年連続の不漁で売上減少、仕入れ値も高く収益が悪化している。(鮮魚・しらす)

サービス業

業況は、売上、収益の減少などから、悪化となった。

今後の見通しとしては、コロナワクチン接種の進展により、売上などの増加が期待されるが、業況は横ばいを見込んでいる。

(事業者の声)

- ・外出自粛により来店客は減少しているが、持ち帰り弁当の需要は増加している。(飲食業)
- ・静岡県での緊急事態宣言によってキャンセルも出ているが、昨年の宣言時よりは客は多い。(レジャー)
- ・新たな事業への設備投資を積極的に行うなど事業意欲は旺盛である。(葬祭関連)

・コロナ禍に加え、人口減少も売上に影響している。

(理容業)

建設業

業況は、原材料価格の上昇が懸念材料になっているが、売上、収益の増加となり、ほぼ横ばいである。

今後の見通しとしては、受注残の増加などから、業況は改善を見込んでいる。

(事業者の声)

・ウッドショックにより利幅の減少等の影響を受けている。

(一般住宅建築)

・民間工事を中心に受注残高は堅調に推移している。

(総合建設)

・人手不足、従業員の高齢化、設備の老朽化が課題となっている。

(土木工事業)

不動産業

業況は、コロナ禍の影響により不動産の動きが停滞していることから、ほぼ横ばいである。

今後の見通しとしては、在庫不足や販売価格の下降などから、業況は悪化を見込んでいる。

(事業者の声)

・緊急事態宣言の発令で飲食店などの撤退もあり、賃貸収入の減少が懸念される。

(不動産賃貸)

・売上確保に向け所有不動産の活用が課題となっている。

(不動産賃貸)

・商品物件の不足により売り上げは減少している。

(不動産代理・仲介)

・大手との競争が激化しており、売上、利幅に影響が出ている。

(不動産仲介)

[お問い合わせ先]

(一社) 静岡県信用金庫協会

電話：054-255-5530

資料 1

1. 業況(全業種)

	今回調査(2021年7~9月期)						前回調査(2021年4~6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.9%	12.8%	35.9%	31.5%	16.9%	▲ 32.7	1.3%	11.4%	36.4%	30.1%	20.7%	▲ 38.0
中部地区	2.2%	12.0%	31.0%	39.1%	15.8%	▲ 40.8	0.5%	14.8%	42.9%	34.1%	7.7%	▲ 26.4
西部地区	2.8%	13.3%	41.8%	31.3%	10.7%	▲ 25.9	3.7%	14.3%	41.0%	31.0%	10.0%	▲ 23.0
県内合計	2.7%	13.0%	38.4%	32.6%	13.3%	▲ 30.2	2.5%	13.5%	39.9%	31.2%	13.0%	▲ 28.2

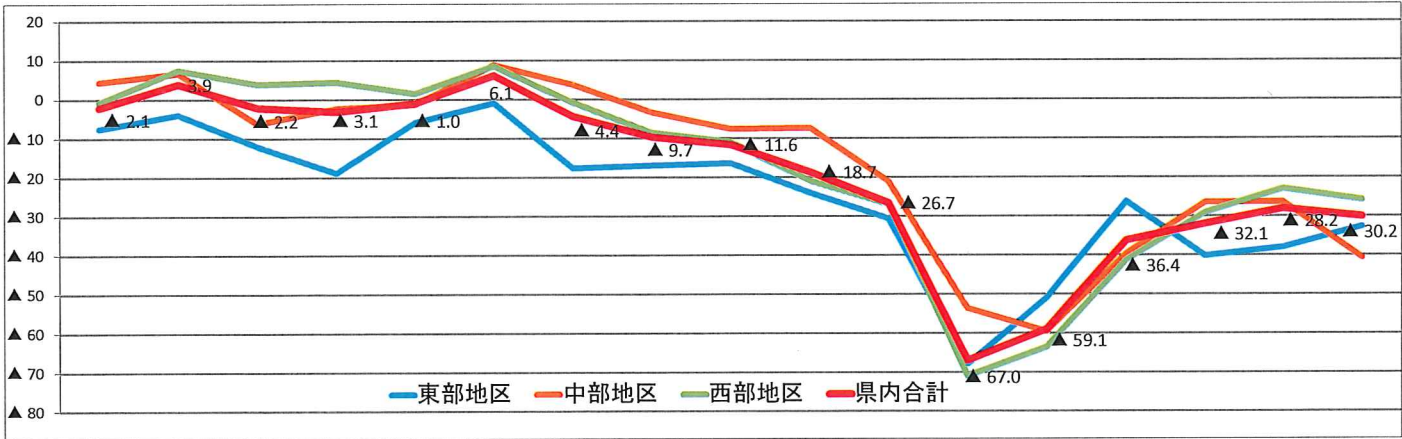
2. 業況予想(全業種)

	2021年10月~12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
東部地区	2.6%	12.8%	37.9%	33.2%	13.4%	▲ 31.2
中部地区	2.7%	10.4%	37.7%	37.2%	12.0%	▲ 36.1
西部地区	1.7%	11.3%	44.9%	33.9%	8.2%	▲ 29.0
県内合計	2.1%	11.6%	41.7%	34.2%	10.3%	▲ 30.8

3. 業況(DI)の推移(全業種)

	2017年 7~9月期	2017年 10~12月期	2018年 1~3月期	2018年 4~6月期	2018年 7~9月期	2018年 10~12月期	2019年 1~3月期	2019年 4~6月期	2019年 7~9月期	2019年 10~12月期	2020年 1~3月期	2020年 4~6月期	2020年 7~9月期	2020年 10~12月期	2021年 1~3月期	2021年 4~6月期	2021年 7~9月期
東部地区	▲ 7.5	▲ 3.9	▲ 12.0	▲ 18.8	▲ 5.8	▲ 0.8	▲ 17.5	▲ 16.9	▲ 16.3	▲ 24.0	▲ 30.6	▲ 67.0	▲ 50.9	▲ 26.2	▲ 40.2	▲ 38.0	▲ 32.7
中部地区	4.4	6.7	▲ 6.3	▲ 2.3	▲ 1.3	8.9	3.8	▲ 3.4	▲ 7.6	▲ 7.4	▲ 21.1	▲ 53.7	▲ 59.6	▲ 39.7	▲ 26.6	▲ 26.4	▲ 40.8
西部地区	▲ 0.8	7.5	3.9	4.5	1.5	8.6	▲ 0.8	▲ 8.5	▲ 10.9	▲ 20.9	▲ 26.9	▲ 71.0	▲ 63.6	▲ 41.3	▲ 29.1	▲ 23.0	▲ 25.9
県内合計	▲ 2.1	3.9	▲ 2.2	▲ 3.1	▲ 1.0	6.1	▲ 4.4	▲ 9.7	▲ 11.6	▲ 18.7	▲ 26.7	▲ 67.0	▲ 59.1	▲ 36.4	▲ 32.1	▲ 28.2	▲ 30.2

県内合計及び地区別DIの推移(全産業)



資料 2
・業種別業況

1. 東部地区

	今回調査(2021年7～9月期)						前回調査(2021年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.0%	18.0%	29.0%	32.0%	17.0%	▲ 27.0	1.8%	12.4%	33.6%	32.7%	19.5%	▲ 38.1
卸売業	3.0%	9.1%	36.4%	30.3%	21.2%	▲ 39.4	0.0%	8.6%	45.7%	20.0%	25.7%	▲ 37.1
小売業	3.8%	12.8%	29.5%	39.7%	14.1%	▲ 37.2	1.2%	11.9%	28.6%	38.1%	20.2%	▲ 45.2
サービス業	0.0%	4.2%	27.1%	31.3%	37.5%	▲ 64.6	0.0%	3.9%	23.5%	29.4%	43.1%	▲ 68.6
建設業	1.9%	11.3%	56.6%	22.6%	7.5%	▲ 17.0	1.7%	13.6%	45.8%	32.2%	6.8%	▲ 23.7
不動産業	3.2%	16.1%	51.6%	25.8%	3.2%	▲ 9.7	2.9%	17.6%	58.8%	8.8%	11.8%	0.0
全業種	2.9%	12.8%	35.9%	31.5%	16.9%	▲ 32.7	1.3%	11.4%	36.4%	30.1%	20.7%	▲ 38.0

2. 中部地区

	今回調査(2021年7～9月期)						前回調査(2021年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	0.0%	13.5%	36.5%	36.5%	13.5%	▲ 36.5	1.9%	26.4%	28.3%	24.5%	18.9%	▲ 15.1
卸売業	3.6%	3.6%	28.6%	53.6%	10.7%	▲ 57.1	0.0%	3.6%	50.0%	42.9%	3.6%	▲ 42.9
小売業	3.1%	12.5%	9.4%	56.3%	18.8%	▲ 59.4	0.0%	16.7%	33.3%	46.7%	3.3%	▲ 33.3
サービス業	0.0%	4.3%	26.1%	34.8%	34.8%	▲ 65.2	0.0%	12.0%	44.0%	36.0%	8.0%	▲ 32.0
建設業	3.7%	22.2%	37.0%	22.2%	14.8%	▲ 11.1	0.0%	7.7%	57.7%	34.6%	0.0%	▲ 26.9
不動産業	4.5%	13.6%	50.0%	27.3%	4.5%	▲ 13.6	0.0%	10.0%	65.0%	25.0%	0.0%	▲ 15.0
全業種	2.2%	12.0%	31.0%	39.1%	15.8%	▲ 40.8	0.5%	14.8%	42.9%	34.1%	7.7%	▲ 26.4

3. 西部地区

	今回調査(2021年7～9月期)						前回調査(2021年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	4.5%	17.5%	36.9%	30.8%	10.3%	▲ 19.0	5.4%	18.7%	32.9%	32.3%	10.6%	▲ 18.7
卸売業	2.5%	11.4%	30.4%	35.4%	20.3%	▲ 41.8	0.0%	12.5%	36.3%	30.0%	21.3%	▲ 38.8
小売業	1.5%	6.1%	42.4%	36.4%	13.6%	▲ 42.4	4.4%	11.8%	45.6%	29.4%	8.8%	▲ 22.1
サービス業	0.0%	2.8%	55.6%	33.3%	8.3%	▲ 38.9	4.4%	6.7%	48.9%	35.6%	4.4%	▲ 28.9
建設業	0.0%	10.7%	53.3%	30.7%	5.3%	▲ 25.3	0.0%	9.3%	54.7%	30.7%	5.3%	▲ 26.7
不動産業	0.0%	9.8%	64.7%	21.6%	3.9%	▲ 15.7	2.0%	6.0%	68.0%	22.0%	2.0%	▲ 16.0
全業種	2.8%	13.3%	41.8%	31.3%	10.7%	▲ 25.9	3.7%	14.3%	41.0%	31.0%	10.0%	▲ 23.0

4. 県内合計

	今回調査(2021年7～9月期)						前回調査(2021年4～6月期)					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI		やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	3.9%	17.2%	35.2%	31.7%	12.0%	▲ 22.6	4.2%	18.1%	32.6%	31.6%	13.5%	▲ 22.7
卸売業	2.9%	9.3%	31.4%	37.9%	18.6%	▲ 44.3	0.0%	9.8%	41.3%	30.1%	18.9%	▲ 39.2
小売業	2.8%	10.2%	30.7%	41.5%	14.8%	▲ 43.2	2.2%	12.6%	35.7%	36.3%	13.2%	▲ 34.6
サービス業	0.0%	3.7%	36.4%	32.7%	27.1%	▲ 56.1	1.7%	6.6%	37.2%	33.1%	21.5%	▲ 46.3
建設業	1.3%	12.9%	51.6%	26.5%	7.7%	▲ 20.0	0.6%	10.6%	51.9%	31.9%	5.0%	▲ 25.6
不動産業	1.9%	12.5%	57.7%	24.0%	3.8%	▲ 13.5	1.9%	10.6%	64.4%	18.3%	4.8%	▲ 10.6
全業種	2.7%	13.0%	38.4%	32.6%	13.3%	▲ 30.2	2.5%	13.5%	39.9%	31.2%	13.0%	▲ 28.2

資料 3
・業種別予想

1. 東部地区

	2021年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.0%	21.0%	41.0%	26.0%	10.0%	▲ 13.0
卸売業	3.0%	3.0%	36.4%	33.3%	24.2%	▲ 51.5
小売業	3.8%	9.0%	37.2%	39.7%	10.3%	▲ 37.2
サービス業	0.0%	4.2%	18.8%	43.8%	33.3%	▲ 72.9
建設業	3.8%	13.2%	45.3%	32.1%	5.7%	▲ 20.8
不動産業	3.2%	19.4%	48.4%	25.8%	3.2%	▲ 6.5
全業種	2.6%	12.8%	37.9%	33.2%	13.4%	▲ 31.2

2. 中部地区

	2021年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	1.9%	17.3%	36.5%	34.6%	9.6%	▲ 25.0
卸売業	3.6%	3.6%	42.9%	42.9%	7.1%	▲ 42.9
小売業	3.1%	3.1%	28.1%	53.1%	12.5%	▲ 59.4
サービス業	0.0%	4.3%	21.7%	52.2%	21.7%	▲ 69.6
建設業	3.7%	22.2%	44.4%	14.8%	14.8%	▲ 3.7
不動産業	4.8%	4.8%	57.1%	23.8%	9.5%	▲ 23.8
全業種	2.7%	10.4%	37.7%	37.2%	12.0%	▲ 36.1

3. 西部地区

	2021年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.7%	13.6%	42.3%	32.9%	8.5%	▲ 25.1
卸売業	1.3%	5.1%	34.2%	46.8%	12.7%	▲ 53.2
小売業	1.5%	7.6%	42.4%	34.8%	13.6%	▲ 39.4
サービス業	0.0%	5.6%	50.0%	36.1%	8.3%	▲ 38.9
建設業	0.0%	17.3%	52.0%	29.3%	1.3%	▲ 13.3
不動産業	0.0%	6.0%	68.0%	24.0%	2.0%	▲ 20.0
全業種	1.7%	11.3%	44.9%	33.9%	8.2%	▲ 29.0

4. 県内合計

	2021年10月～12月の業況予想					
	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	DI
製造業	2.5%	15.5%	41.4%	31.7%	8.9%	▲ 22.6
卸売業	2.1%	4.3%	36.4%	42.9%	14.3%	▲ 50.7
小売業	2.8%	7.4%	37.5%	40.3%	11.9%	▲ 42.0
サービス業	0.0%	4.7%	29.9%	43.0%	22.4%	▲ 60.7
建設業	1.9%	16.8%	48.4%	27.7%	5.2%	▲ 14.2
不動産業	2.0%	9.8%	59.8%	24.5%	3.9%	▲ 16.7
全業種	2.1%	11.6%	41.7%	34.2%	10.3%	▲ 30.8